



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2023/02/25

**あっさり黙示録 #54**  
**大バビロン壊滅を喜ぶ人々**  
**黙示録 18章**

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日は**あっさり黙示録** 54 回目です。  
反キリスト帝国の首都大バビロンの壊滅の記事ですね。  
今までは、大バビロン壊滅によって3つのグループの人が泣き悲しむことを説明して来ましたが、今日の箇所では、3つのグループの人が喜びます。

**黙示録 18章**

**20「天よ、この都のことで喜べ。聖徒たちも使徒たちも預言者たちも喜べ。神があなたがたのために、この都をさばかれたのだから。」**

天よ、この都のことで喜べ。

天にいる人々よ、天に移動した人々よ、大バビロンのことで喜べ。

天にはどんな人々がいるのか。3つのグループ、聖徒たち・使徒たち・預言者たち。大バビロンに結び付いていた政治家・商人・海運業者と対になっています。

聖徒たちはキリストを信じている人たち。使徒たちはキリストの12弟子。

預言者たちはキリストの福音を宣べ伝える賜物を持って、それに専念する人たち。

特に、聖徒たちと預言者たちについては補足説明があります。

**24「この都（大バビロン）の中に、預言者たちや聖徒たちの血、また地上で屠られたすべての人々の血が見出されたからである。」**

ここでの預言者たちや聖徒たちは、特に大バビロンで殉教した人たちです。

大バビロンの中で、反キリストに頭を下げることを一切しなかった人たち。

666の刻印を受けようとしなかった人たち。

あくまでも、キリストに忠実に従った人たち。

彼らはこの地上では悲惨な目に遭ったんですね。血が流された。殉教した。

この罪の無い人たちの叫びを、神は決して見過ごされません。

悪に対しては、必ず神が決着をつけてくださる。

それが、艱難時代の一番終わりの終わりのクライマックスの時、たった一日でバビロンが崩壊するという預言の成就なのです。

ところで、バビロンはどのように崩壊するのでしょうか。

**21 また、一人の強い御使いが、大きいひき臼のような石を取り上げ、海に投げ込んで言った。「大きな都バビロンは、このように荒々しく投げ捨てられ、もはや決して見出されることはない。」**

皆さんは石臼をご存知ですか。イメージする石臼はどれくらいの大きさですか。私はイスラエルにちょうど 20 回行きましたが、初めて行く方にお勧めしている場所は、ガリラヤ地方にあるナザレ村というアトラクション施設です。ナザレ村には 1 世紀（イエス・キリストがこの地上におられた当時）の服装・生活の仕方・羊の飼い方・糸の紡ぎ方などを実演してくれる役者がいるんですが、全員アラブ人のクリスチャンなんですね。

そして、当時の人々がどのようにぶどう畑を作ったのか、麦の打ち場はどんな所なのかなど色々実演しながら、聖書に出て来るユダヤ人の生活習慣を目の前で見せてくれるんです。イスラエルに初めて行く方には参考になるのではないかと思います。

そこに石臼があって、直径は最低でも 2m 以上、厚さは 80 cm・90 cm。それが 2 つ、グリグリ回転させるみたいに、ロバがグルグル回って挽くんですよ。石臼ってちっちゃい、蕎麦屋さんにあるような、蕎麦を粉末にするようなのは全然違う。もう大きい岩石の塊みたいなヤツ。そんな物を海にぎばーんと投げ込んだら、絶対に浮かび上がりません。海底に沈み込むしかない。

それと同じように、バビロンはもはや二度と繁栄することはない。だれも二度とバビロンの繁栄を見ることはない。トドメを刺した。トドメが刺された状態を 5 つの表現で語っています。（22-23 節）

**① 22a 豎琴を弾く者たち、歌を歌う者たち、笛を吹く者たち、ラッパを鳴らす者たちの奏でる音が、おまえのうちで、もはや決して聞かれることはない。**

バビロンに音楽が無くなる。音楽は喜びの表現でもあるのですが、音楽を奏でるような喜びを表明する者はだれもいなくなる。ただただ恐怖と悲しみの場所になる。

**② 22b あらゆる技術を持つ職人たちも、おまえのうちで、もはや決して見出されることはない。**

全産業は壊滅し、そこで産業が興されることはない。地の利がどんなに便利でも、ここに都市は出来ない。工場も出来ない。産業は興らない。

**③ 22c 石臼の音も、おまえのうちで、もはや決して聞かれることはない。**

石臼の音はガリガリガリ。日本的に言うなら、主婦がまな板で、包丁の音をトントントン聞かせるような感じじゃないですか。そのような生活の音が一切ないということは、生活する人がゼロになるということなんですね。

**④ 23a ともしびの光も、おまえのうちで、もはや決して輝くことはない。**

実は、来るべき千年王国には夜がありません。ずーっと昼。神の栄光が世界を照らすということを語っていますが、このバビロンだけは暗闇。だけど、暗いからといって灯火をともす者はだれもない。人がいないから。

**⑤ 23b 花婿と花嫁の声も、おまえのうちで、もはや決して聞かれることはない。**

バビロンで贅沢な生活を満喫していた、すなわち 666 の刻印を持っている人たちの

子孫は絶滅します。子孫はだれも残らない。  
徹底した壊滅。これがバビロンの状態なんですね。

バビロンの壊滅を見た時、ある人々は悲しみのどん底になり、あるグループの人たちは喜びの絶頂になる。なぜ喜びの絶頂になるのか。

艱難時代に**使徒**たちはいないのに、「バビロンの崩壊を喜べ」と言われています。なぜかという、バビロンの崩壊の後に**キリストの地上再臨**が起こるからです。キリストの地上再臨の後に、この地上に展開するのが**千年王国/メシア的王国**です。

キリストの到来がいよいよカウントダウンに入ったという描写がこの **18 章**ですが、ここで自分自身に適用してみたいと思います。

あなたはキリストの到来を喜んで迎える準備が出来ていますか。それとも、キリストの到来は恐怖ですか。

だれでもイエス・キリストを救い主として受け入れるなら、すべての罪が赦され、神の子供となる特権が与えられます。

**黙示録**は、私たちがキリストを迎える準備をするために与えられていることばでもあるのです。

まだイエス・キリストを信じていない方、受け入れていない方は、ぜひキリストを信じてください。そして、祝福の人生の中に入られますように心からお勧めします。

ということで、**18 章**終わりましたねえ。いよいよ **19 章**ですよ。地上再臨の、ハルマゲドンの戦いの現場に突入しようとしております。ぜひお付き合いください。そして、この結末を見届けていただきたいと思います。

チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお会いしましょう。それまで皆さん、お元気でいらしてください。さよなら！

### **ヨハネの福音書 1 章 12 節**

**この方（イエス・キリスト）を受け入れた人々、  
すなわち、その名を信じた人々には、  
神の子どもとなる特権をお与えになった。**

---

☆引用；日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017